

JA MONBETSU JOURNAL

平成29年元旦 新年特別号

門別町農業協同組合 電話 (代)2-5111 FAX2-6412

JA MONBETSU



No.
110
号



謹んで新年の

お慶びを申し上げます

平成二十九年が皆様におかれまして

明るく健康で実りのある

一年でありますことを念願致します

参	員	監	代	理	理	理	理	筆	専	代
外			表					頭	務	表
監			監					理	理	理
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事

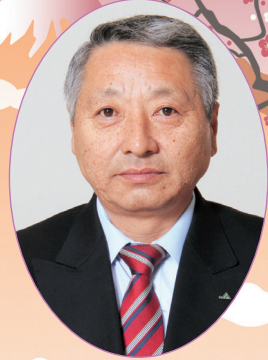
職 潤 澤 立 川 長 広 佐 坪 道 楨 本
員 端 井 石 代 部 瀬 藤 田 見 本 間

一 祐 政 良 弘 秋 慶 正 成 忠

岡 一 雄 晴 美 道 士 人 治 信 功 充

おめでとう

新年挨拶



門別町農業協同組合
代表理事組合長

本 間 充

新年明けまして
おめでとうございます

組合員の皆さまには、ご家族と共にご壮健で新年を迎えられた事を衷心よりお慶び申し上げますとともに、日頃より当ＪＡの各事業運営に対し、特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと国内外でいろいろな大きな出来事がありました。

一月には「日銀がマイナス金利政策を導入」、二月に「日本を含む参加十二カ国によりＴＰＰ協定に調印し十二月には衆参両院本会議で関係法案が承認」、四月に「熊本地震による甚大な被害」、

六月に「イギリス国民投票による欧州連合（ＥＵ）からの離脱」、八月には「北海道に４つの台風が直撃・接近で甚大な被害」、十一月に「米国大統領選で共和党ドナルド・トランプ氏が勝利」、十二月には「韓国の朴大統領が弾劾される」など、それまで予期していなかった事が数多くあり、中でも八月の台風では全道各地で甚大な農業被害が発生し、当地区組合員の皆様も農作物、農地、構築物など、多大な被害を被り、春先からの天候不順も重なって「実り多き良い年」ではありませんでした。

また、ＴＰＰに関しては米国次期大統領トランプ氏が反対を表明しており、ＴＰＰが発効（実施されること）されるかは不透明になつておりますが、トランプ氏は米国に不利だとするＴＰＰを離脱して日米二国間交渉を表明していることから、より一層の要求が考えられ、同時に日本とＥＵ（欧州連合）とのＥＰＡ交渉が進められて来ておりますが、どちらも農業分野としては厳しい交渉内容が予想されることから、ＪＡグループとして声を上げていかなければなりません。

一方農協改革問題では、規制改革推進会議・農業ＷＧが十一月に発表した農協改革に関する意見では、「全農の組織体制や事業あり方の見直し」、「地域農協の信用事業を農林中金への譲渡を積極的に推進する」、「准組合員の利用規制の実態調査や研究を加速する」、「クミカン制度の即時廃止」など暴走とも言える余りにも急進的な提言を発表し、その後、政府・与党方針として「地域農協の信用事業譲渡」、「クミカン制度

廃止」には触れない自民党案として落ち着きました。組合員の所得向上や持続可能な農業の確立に向け、ＪＡグループや当ＪＡも自ら改革に取り組んで行かなければなりません。高齢化等による組合員の減少、あるいは国際情勢の変化など、数々の課題が山積する中では、組合員皆様の理解のもと、共に改革に取り組んでいかなければならない問題です。

昨年を振り返りますと厳しい新年の挨拶となつてしまいました。が、先ずは役職員一人一人の意識改革のもと、質の高いサービスに合うたサービスを如何に提供していくか、皆様の協力も得ながら、農業振興、地域振興の発展に役割を発揮して参りたいと存じます。

結びに、本年が健康に恵まれ実り多い一年になりますよう、心よりご祈念申し上げます、新年にあたりのご挨拶といたします。



平成二十九年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長

飛田 稔章



組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成二十九年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先からの天候不順、八月中旬から相次いで上陸・接近した4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生しました。

現在もその傷跡は依然として深く残っており、復旧・復興に向けた懸命な努力が続けられているところです。

今後とも、JAグループ北海道は、組合員の皆様が夢と希望を持つて営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートいたします。

また、全農改革を始めとする農協改革並びに指定生乳生産者団体制度のあり方を含めた農業競争力強化プログラムの取り纏め、次期米国大統領ドナルド・トランプ氏のTPP離脱・日米二国間交渉の表明、EUとのEPA交渉の動きなど、我が国の農業・JAにとって先行き不透明感が増大する情勢変化があつた一年でした。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図

つて参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第二十八回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る 力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に基づき、その着実な実践を図っているところです。

昨年はJAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、JA北海道大会実践フォーラムを開催致しました。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。

関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

一方、農業情勢では、世界規模での異常気象の発生、人口増加、経済情勢の変化などを背景に、国際的な食料の需給事情は常に不安定な要因を抱えており、我が国として、先を見据えた中で食料自給率の確保などによる食料の完全保障体制をいかに確立していくかが問われています。

言うまでもなく、農業は、食料の

安定供給という、国民生活に欠かすことができない極めて重要な役割を担っている生命産業であり、その役割は未来永劫変わることはありません。

JAグループ北海道は、その責任感と自負心のもと、あらためて協同と相互扶助の精神に立ち返つた中で、現下のさまざまな課題を克服すべく、力を合わせていく時であります。さらに農業・JAに対する幅広い理解と共感を得るべく道民550万人サポーターづくりの取組みを積極的に進めながら、自己改革を加速させ、長年にわたり先人が築き上げてきた本道農業並びにJAの基盤をさらに発展させ、後世に継承できるような努力して参ります。

結びになりますますが、今年の干支は丁酉（ひのと）です。

一説には、丁は「安定する」という意味があり、酉は「果実などが成熟し実る状態」を表しているとのことでもあります。

今年は、この酉年にあやかり、天候に恵まれ実り多い安定した一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたつてのご挨拶といたします。



ミルクローリー 石油ローリー 新規導入!! 交通安全祈願



十一月十九日(土)ミルクローリーと石油ローリーの新規導入に伴い二台の交通安全祈願が執り行われました。

今回新規導入となったのは、今まで利用していたローリーが平成六年から日夜欠かさず二十二年間走り続けてもらっていました。長年の使用により車体の損耗が激しく、故障などでローリーの運行が止まっては組合員さんに迷惑をおかけすることになるため、今回新たに導入する運びとなりました。

安全祈願には農協の他に機械センター等も参列し車輜運行の無事を祈願しました。

全国ネギサミット開催!!

生産部



十一月二十六日、二十七日の二日間に渡って大井競馬場にて開催されました。

全国から十五の都道府県が参加し、日高町では、軟白長ネギ、ひげにんにく、ネギ入りジンギスカン等を販売しました。

初日は天気も良く沢山のお客様にお越し頂き、二日目も雨の予報で客足が心配されましたが、雨は降らず曇りで済んでくれたので、初日に負けないくらいのお客様にお越し頂けました。

物販販売の他にも、ステージの上で軟白長ネギのPRも行い、本州の方々に門別の美味ネギ君をしっかりとアピールしてきました。



J A 日 胆 地 区 女 性 部 研 修 会 ・ 家 の 光 大 会



十二月一日・二日と登別グランドホテルにおいて、JA日胆地区女性部研修会・日胆地区家の光大会が開催され、女性部からは六名参加しました。家の光記事活用体験発表では、おかわ町で新規就農された方のお話と、家の光協会の情勢報告があり、研修では、道女性協議会・参与と自身の夫婦二人三脚での農業経営のお話をお聞きました。

その後、札幌厚生病院の理学療法士の指導により「肩こり・腰痛対策」の一環で皆で体を動かして実践しました。

二日目は静岡県JAグループによる「お茶の入れ方教室」の研修を受け、高級な静岡茶葉で「ほっと一息」ゆったりした時間を愉しみました。

二日間を通して、日胆地区の女性部の方々と交流を深めました。

J A 門 別 町 女 性 部 室 内 レ ク リ エ ー シ ョ ン



11月に厚賀会館において、JA門別女性部室内レクリエーションが行われました。楽しいゲームを全員で行い笑いが絶えない会場でした。終了後、昼食をいただき、楽しい時間を過ごしました。

門 別 産 馬 大 躍 進 !!



来年も門別産馬の大躍進を期待しております。

多くの門別産馬が活躍しました。

マイルCSナンブ杯(JpnI)コパノリッキー。天皇賞秋(GI)モーリス。十一月ジャパンカップ(GI)キタサンブラック。十二月ロンドン香港カップ(GI)モーリス。と数

昨年門別産の競走馬が国内外で大活躍しました。

重賞だけで数えても。二月・ダイヤモンドステークス(GIII)という牧場のトウインクル。三月・中山牝馬ステークス(GIII)下河辺牧場のシュンドルボン。五月・天皇賞春(GI)ヤナガワ牧場のキタサンブラック。チャンピオンズマイル(GI)戸川牧場のモーリス。かしわ記念(JpnI)ヤナガワ牧場のコパノリッキー。六月・帝王賞(JpnI)コパノリッキー。十月・京都大賞典(GII)キタサンブラック。

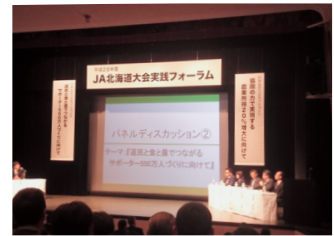
JAグループ通信 大会実践フォーラム特集

私たちは大会決議事項である「所得20%増」「担い手倍増」「サポーター550万人づくり」「JAグループの人づくり」等、息の長い取り組みを続けて行かなければなりません。今後も、協同の理念のもとで着実に実践を積み重ね、農業・JAの意義をグループ内外に積極的に発信し続けながら、北海道農業の価値を高めて行くことで道民や国民に信頼され愛されるJAグループになることを目指して参ります。



JA北海道中央会

「JA北海道大会実践フォーラム」では、昨年の第28回JA北海道大会の決議事項に対する実践機運を高めることを目的に、農業所得20%増大と550万人サポーターづくりをテーマとするパネルディスカッションと、JAグループからのメッセージとして決議事項の実践状況を発信しました。以降、メッセージの内容を掲載します。



毎月、JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介しておりますが、今回は、11月2日に開催したJA北海道大会実践フォーラムで発信した「JAグループからのメッセージ」をお伝えします。

JA北海道信連

新規担い手倍増、農業所得増大の取り組みとして、各連合会が連携しての「後継者親元就農」「ICT導入」等へ助成支援する『担い手確保・育成支援事業』の実施や後継者等向けに借換による償還負担軽減を図る資金を創設しました。

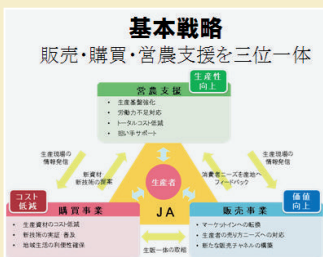
また、550万人サポーターづくりとしてコンサドーレ通帳の発行、親子料理教室、



「ドドン貯金キャンペーン」の実施等、JAファンづくりに取り組みました。今後、選ばれるJAバンクを目指して取り組んでまいります。

ホクレン

「販売・購買・営農支援を三位一体とする事業運営」を基本戦略とし、「価値向上」「生産性向上」「コスト低減」の実践を通して「農業所得の向上」を目指すとともに、経営の合理化による配当の向上、主要品目全般における手数料の引き下げ、各種奨励施策の実施など、生産者・会員JAへの最大限の還元に努め、「皆様に選ばれるホクレン」を目指します。



JA共済連北海道

「相互扶助」を事業活動の原点に「ひと・いえ・くるまの総合保障」により、組合員・利用者が健康で安心して暮らせる地域社会づくりに貢献しています。



今後引き続き農業経営に貢献する取り組みと、JA支援の強化を重点事項として、地域密着の社会貢献活動を展開しながら組合員・利用者との結びつきを深めてサポーター550万人づくりに取り組みます。

JA北海道厚生連

厚生連は、設立以来「農民の健康保持と生活文化の向上」を目指し、安心して暮らせる地域社会と農村の環境づくりに寄与してまいりました。

今後についても、地域のつながりを守る生活基盤としての機能発揮と、道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりへの貢献を「医療・健康管理・高齢者福祉・配置薬」の視点から推進し、取り組んでまいります。



年始業務日程

月 日		1／1～2	1／3	1／4	1／5	1／6
曜 日		日～月	火	水	木	金
一般業務	本 所 事 務 所	年 始 休 業				業 務 始 め
	生 産 資 材					
	厚 賀 支 所					
貯金業務	本 所 窓 口	年 始 休 業		業 務 始 め	通 常 営 業	
	支 所 窓 口			稼 働		
	本 所 A T M					
	厚 賀 支 所 A T M					
A コ ー プ 厚 賀 店		年 始 休 業				業 務 始 め
ス タ ン ド						

冬道の運転は慎重に
安全運転を心掛けましょう!!



年始のATMご利用可能日時のお知らせ

月	日	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5
曜	日	日	月	火	水	木
本 所 A T M		年 始 休 業			通 常 営 業 8:30~18:00	
厚 賀 支 所 A T M						

※年始の1月3日は提携金融機関やコンビニ等のATMもご利用できません。
1月1日・2日は、提携金融機関・コンビニ等ATMはご利用いただけます。

JAバンクの手数料無料ATM

金融機関名	道内の主な 設置場所	お取引 内 容	ご 利 用 手 数 料		
			平 日 8:45~18:00	土曜日 9:00~14:00	その他の時間帯 および 日曜日・祝日
JAバンク	JA等	入出金	無 料	無 料	無 料
セブン銀行	セブンイレブン	入出金	無 料	無 料	108円
ローソンATM	ローソン	入出金	無 料	無 料	108円
イーネットATM	ファミリーマート サークルKサンクス セイコーマート	入出金	無 料	無 料	108円
ゆうちょ銀行	郵便局	入出金	108円	108円	216円
JFマリンバンク	漁組	出 金	無 料	無 料	無 料
三菱東京UFJ銀行	三菱東京 UFJ銀行 各店舗	出 金	無 料	108円	108円

- ・祝日が土曜日と重なる場合は、日曜・祝日その他時間帯のご利用手数料となります。
- ・稼働時間帯はATMにより異なる場合がありますので、ご利用ATMの掲示等でご確認下さい。
- ・ローソンのごく少数の店舗では、他金融機関が運営するATMが設置している場合がありますので、ご利用の際には「ローソンATMマーク」をご確認願います。
- ・イーネットATMについては、サークルKサンクスにも設置されていますが、大多数の店舗では手数料が発生するイーネット以外のATMが設置されておりますので、ご利用の際には「E-netマーク」をご確認下さい。
- ・コンビニの一部店舗においては、ATMが設置されていない場合があります。